

親切運動の取組について

学校名 魚津市立道下小学校

児童数 244名

1 親切運動の取組の紹介

(1) 朝の挨拶運動

- ・毎朝、企画委員が児童玄関前に立ち、挨拶運動を行っている。児童が楽しく挨拶ができるよう、全校児童からマスコットを募集し、各学年から作品を数点選びプラカードにして活用している。また、「にこにこあいさつボランティア」と題して、各学級に挨拶運動への参加を呼び掛けた。日替わりで学級ごとの順番を決め、希望する児童がボランティアで参加している。
- ・10月からは毎月第2週を挨拶強化週間とし、朝の挨拶運動に民生児童委員の方にも参加していただくことができた。
- ・挨拶運動をより活発にするために臨時の全校集会を実施した。委員会の児童が普段感じていることを全校に伝え、よりよい挨拶の実行を呼び掛けた。
- ・3学期は、地域の方への挨拶に元気がない、登校班のメンバーへの挨拶ができない児童が多いなどの残された課題の解決に向けて取り組んでいく。



「挨拶運動の様子」



「全校集会での呼び掛け」

(2) 縦割り班活動

- ・年間を通して全校縦割り班活動を実施している。1学期には縦割り班遠足、2学期以降は業間に交流活動を行っている。異学年交流による学び合いを通して、思いやりの心を育てるとともに、コミュニケーション能力を向上させることで、温かい人間関係を育むことができた。
- ・縦割り班遠足では、班ごとに見学先を設定し、地域の公共施設や商業施設を訪問し、学んだことを学年の発達段階に応じてまとめている。ふるさとキャリア教育の一環として実施しており、ふるさとに誇りと愛着をもつ児童の育成を目指している。
- ・児童がより主体的に活動し学びを深めていけるよう、活動の進め方を工夫していく必要がある。



「縦割り班での打合せの様子」



「縦割り班遠足の様子」

2 親切運動に取り組んで

- ・委員会を中心に、児童主体で呼び掛けを行うことで、全校児童の各活動への参加意欲を高めることができた。また、挨拶運動に関しては、地域の方にも参加していただいたことで、児童が地域との関わりをより強く感じることができるようになってきた。
- ・本校では、来年度からコミュニティスクールの運用が本格的に始まる。家庭と学校、地域が協力しながら、子供たちの健全な教育活動を充実させていけるよう、連携を図っていきたい。